

交流と連携〈高規格幹線道路ネットワークの形成〉: 北条湯原道路

北条湯原道路

北条湯原道路は、一般国道313号のバイパス道路として、鳥取県中部地方生活圏と岡山県真庭地方生活圏を相互に連絡し、高規格道路である中国横断自動車道岡山米子線や中国縦貫自動車道と一体となって広域的な道路ネットワークの形成を図る延長約50kmの路線であり、平成6年12月に地域高規格道路の計画路線に指定されました。北条JCT(仮称)にて、東西を結ぶ高規格道路「山陰道」と完全立体交差型のジャンクションで接続する予定です。

主な経緯

- 平成 6年 12月 北条湯原道路が地域高規格道路に指定
- 平成 8年 8月 「北条倉吉道路」整備区間に指定
- 平成 9年 「北条倉吉道路」(約 4.1km) 事業着手
- 平成11年 12月 「北条倉吉道路(延伸)」 整備区間に指定
- 平成12年 「北条倉吉道路(延伸)」(約 2km) 事業着手
- 平成17年 3月 「倉吉道路」整備区間に指定
- 平成18年 「倉吉道路」事業着手
- 平成19年 3月 「北条倉吉道路」(約 6.1km) 供用開始
- 平成23年 4月 「倉吉関金道路」整備区間に指定 事業着手
- 平成25年 6月 「倉吉道路」倉吉 IC～倉吉西 IC 間 供用開始
- 平成29年 「北条 IC(仮称)/JCT(仮称)」事業着手
- 令和 7年 3月 倉吉西 IC～倉吉南 IC 間 供用開始



北条 JCT(仮称) (R 7.4 撮影)



倉吉南 IC (R 7.5 撮影)

北条湯原道路の時間短縮効果

北条湯原道路の整備により、
湯原IC～国道9号の移動時間は15分短縮に！

15分
短縮

【開通前】

56分

【開通後】

41分

